



## ■ テーマ名

### 大学生の就職活動における意思決定に関する研究

## ■ キーワード

就職活動、意思決定、当事者意識、社会的資本、心理的資本、内定承諾と内定辞退

## ■ 研究の概要

### 【研究目的】

本研究の目的は、学生から社会人に移行するもっとも重要な時期における意思決定に注目し、大学生が就職活動において、何を基準にして最終的に就職先を決めるのか。その基準および影響要因について検討することです。その際、大学生の当事者意識について新たな概念定義を試みたくえて、定量研究のための新概念として尺度を開発することも目指します。

### 【研究の背景】

雇用環境が激変するなか、企業主導のキャリアから、個人主導の主体的なキャリアを歩むことが求められるようになってきています。一方で、「やりたいことがわからなく、働くイメージがわからない」、「とりあえずどこでもいいから就職したい」など当事者意識をもって自らのキャリアを考えていない大学生も多く見受けられます。

大学卒業後のキャリアを考え始める3年生から内定承諾までの就職活動は、会社説明会への参加やインターンシップへの参加、内定者研修への参加などにより入社の意思決定に影響を与えるイベントが連続します。さらに、コロナ禍による企業の将来性への不安やリモート採用による不確かさも加わり、大学生が企業選択する際の影響は、これまでとは異なるものに変化しつつあるなか、大学生にとって就職活動は困難性を高めていると考えられます。

## ■ 他の研究／技術との相違点

社会的資本と心理的資本という概念を用いて、大学生の就職活動の研究として扱うことに新規性があります。

## ■ 今後の展開、実用化へのイメージ

就職活動における意思決定力や心理的資本を開発するキャリア・プログラムを構築ことを目指しています。

## ■ 関連業績（特許・文献）

「キャリア・サクセス研究の展望—理論基盤、測定尺度、先行要因について—」

Kobe University Working Paper 2017・01a

## ■ 研究者から一言

大学生の採用に関して興味をもつ企業様と大学のキャリア教育やキャリア支援にかかわる方との共同研究で進めていきますので、興味・関心をお持ちの方は、社会連携あてにメールにてお問い合わせください。